

2025年12月賞与要求は満額回答で労使合意！！ 月給制社員を対象に平均1.35ヶ月を支給！！



＜労使協議会 議題＞

2025年12月賞与組合要求、および会社回答

2025年12月賞与要求に関しては、以下のプロセスを経て労使合意に至りました。

- 10月15日 本部執行委員会にて賞与要求案を審議・決定。
- 10月22日～28日 動画配信を通じて、メンバーへの説明を実施。
- 10月29日 分会評議員会にて最終審議を行い、要求内容を確定。
- 11月3日 労使協議会にて正式に要求書を提出。会社より満額回答を受け、労使合意。

■日 時：11月3日（月・祝）15：00～

■出席者：【会社】桑折・勝浦・坪根・大塚

【組合】吉田・保利・木村・川上（敬称略）

2025年12月賞与要求概要

2025年12月賞与要求（雇用形態別支給ヵ月、評価分布要求）

- 支給表については変動せず、春の交渉において労使確認をしている支給表通りの要求を行います。
- 月給制雇用形態を対象に、ベースの支給表通り「平均1.35ヵ月」の要求を行います。
- 評価分布は全雇用形態「平均B以上」を要求します。

【ゼネラルステージB】

2025年12月
一律 1.35ヵ月

【その他月給制社員】

評価	2025年12月
S	1.49ヵ月
A	1.42ヵ月
B	1.35ヵ月
C	1.28ヵ月
D	1.21ヵ月

＜賞与支給日＞

- 賞与支給日は「12月5日（金）」で確認しています。

◆ 労使協議会 委員長・社長コメント ◆

【吉田委員長コメント】年度方針にもとづく取り組みの成果が上期の増収増益戦略を推進をした従業員の貢献に応える協議を労使間で進める



- 賞与要求の満額回答、労使合意について、改めて感謝を申し上げます。
- 2025年度上期は、売上増と基盤整備により、前年から増収増益になる見込みであることを確認しています。
- この成果は、北海道百科のメンバーが、年度方針に沿って業務に取り組んだことによるものと捉えています。
- 今回の賞与要求は、現状の業績動向を踏まえ、春の交渉で確認した支給表通りの要求です。この間にメンバーからは、安定的な賞与支給に安心の声がある一方、生活給としての基本賞与水準の引き上げを望む声もあがっています。
- 年間の営業利益目標達成に向けて下期は、「売上差益率の向上」、「売上拡大」、「基盤の整備」3つの重点項目を継続的に実行し、安定的な収益向上を図っていくことが肝要です。
- 労働組合は、業績目標の着実な達成を重視し、収支計画や新規事業の採算性を継続的に確認しながら、チェック機能としての役割を果たしていきます。
- 業績目標達成によって得られた成果を、従業員一人ひとりの貢献に最大限報いることができるよう、労使間で引き続き協議を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

【桑折社長コメント】営業利益の増収増益は全従業員の奮闘の結果戦略を着実に実行し、収益性を高めることで年間営業利益目標達成を目指す

- 組合要求案通りに対応する旨、回答いたします。上期の総括として、営業損益は若干の赤字となる見込みですが、売上高および営業利益は前年を上回る増収増益となります。
- これは道内外各店舗の従業員、本社従業員のご奮闘および努力の結果であり、社員の皆様に深く感謝申し上げます。
- 一方で、9月に業績低下を理由に「きたキッチンモユク店」を閉店の決断は、収益性の改善と資源の最適配分のために不可欠でした。
- 対照的に、道外での販路拡大として、9月にオープンした「どさんこプラザ高輪店」や、9月から10月にかけて福岡で展開したPOPUP店舗は好調に推移しています。
- 販管費では、モユク店の家賃が契約金額に戻った影響もあり、予算・前年を上回りました。一方で、少人数による店舗運営体制の構築や、発注業務のEDI化による通信費の抑制など、販管費の削減に向けてさまざまな取り組みを進め、販管費の伸びは最小限に留めました。
- さらに物産展や福岡でのPOPUP販売など複数のイベントが重なった繁忙期には、本社従業員をはじめ店舗従業員にも販売応援に入っていたいただいたことが、大きな成果につながりました。

- 差益向上施策をはじめとする利益改善にも日々取り組み、失敗を恐れず挑戦し続けてくれた従業員の努力を高く評価しております。
- 今後は、年間営業利益の予算達成に向けて、販売強化、差益率の向上、コスト管理、道外販路の拡大、従業員のさらなる成長の取り組みなど、具体策を着実に実行してまいります。
- 組合のご理解と引き続きのご協力をお願い申し上げますとともに、会社としても従業員の安全と働きやすさの向上に努めてまいります。

